

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	群馬県美容専門学校
設置者名	学校法人群馬県美容学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
美容専門課程	美容師学科	夜・通信	420 時間	160 時間	
	サスーン スクールシップヘアスタイリスト学科	夜・通信	420 時間	160 時間	
	ビューティスタイリスト学科(ブライダルスタイリストコース)	夜・通信	1350 時間	160 時間	
	ビューティスタイリスト学科(メイクアップ&コスメティックアドバイザーコース)	夜・通信	1320 時間	160 時間	
	ビューティスタイリスト学科(ネイリストコース)	夜・通信	1380 時間	160 時間	
	ビューティスタイリスト学科(シデスコインターナショナルエステティックコース)	夜・通信	700 時間	160 時間	
	エステティック学科	夜・通信	740 時間	160 時間	
	ビューティテクニカル学科	夜・通信	745 時間	80 時間	
<p>(備考) 美容師学科・サスーンスクールシップヘアスタイリスト学科・ビューティスタイリスト学科は新課程以降初年度となるため、1年は新課程、2年は旧課程より計上している シデスコインターナショナルエステティックコースは、完成年度前のコースにより、1学年の課程のみの時間数とした エステティック学科は2019年度募集停止の為2年生の課程のみの時間数とした</p>					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページによる公表 URL : <a href="http://www.gunbi.ac.jp">http://www.gunbi.ac.jp</a> (TOP ページ下部の“シラバス等”内に記載)
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	群馬県美容専門学校
設置者名	学校法人群馬県美容学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにより公表 URL：<http://www.gunbi.ac.jp>（TOP ページ下部、“財務諸表等”の事業報告内に記載）

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会計事務所代表	3年	財務
非常勤	労務管理事務所代表	3年	労務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	群馬県美容専門学校
設置者名	学校法人群馬県美容学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業の終了段階までに、できるようになってほしい行動(指導目標)を掲げ、知識、技能、取り組み方法などを記載する。また、学習目的として、この科目で何を修得できるかを明確に記載し、授業形態(講義、実習)、単位数により、開講回数分の授業計画を作成する。評価方法についても、どのような観点でどの程度の評価をされるかを記載し、期末試験やレポート提出状況、授業態度など分かりやすいように記載する。授業で使用する教科書、参考書、使用教材についても、授業計画の中に記載し、円滑な授業が行われるように記載する。</p> <p>授業計画書(シラバス)の作成・公表時期については、講師と教務での見直し後、授業計画書(シラバス)の作成をする。公表時期は新年度始まり早い時期に学生に配布、ホームページ上での公表も同様。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページにより公表</p> <p>URL: <a href="http://www.gunbi.ac.jp">http://www.gunbi.ac.jp</a> (TOP ページ下部、“シラバス等”)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修の評価については、科目により試験得点による評価や実習の成果、レポート内容、提出状況、受講態度などを総合的に勘案し、5段階の成績評価とし、C評価以上を合格とする。</p> <p>S: 特に優秀な成績・・・100～90点  A: すぐれた成績・・・89～80点  B: 一応その科目の要求を満たす成績・・・79～70点  C: 合格と認められる最低の成績・・・69～60点  F: 不合格・・・59点以下</p> <p>作品評価においては、授業中に修得した技術及び指摘されたポイントの習熟度を基準に点数化をし、100点満点中60点以上を合格とし、適正に評価をする。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>授業科目ごとに100点満点中60点以上を合格とする。          評価においては、C評価以上を合格とする。          S：特に優秀な成績（100～90点）          A：すぐれた成績（89～80点）          B：一応その科目の要求を満たす成績（79～70点）          C：合格と認められる最低の成績（69～60点）          F：不合格（59点以下）</p> <p>履修管理ソフトを導入しており、上記によって出された各科目の成績、順位、平均点、評価が明確に管理されて指標の算出に役立っている。          上記によって導き出された、学生個人の全ての試験科目の成績を合計し、個人の平均点を算出する。学科ごとに全学生の平均点を算出し指標分布を作成する。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページにより公表          URL：<a href="http://www.gunbi.ac.jp">http://www.gunbi.ac.jp</a> (TOP ページ下部、“成績評価に関する…”)</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美容専門課程2年制の学生は2年以上在学し、学科ごとに定める授業科目を履修し、美容師学科及びサスーン スクールシップ ヘアスタイリスト学科においては67単位、理容修得者課程の学生は1年以上在学し、学科で定める授業科目を履修し、理容修得者学科においては34単位以上、ビューティスタイリスト学科においてはブライダルスタイリストコース65単位以上、メイクアップ&amp;コスメティックアドバイザーコース65単位以上、ネイリストコース63単位以上、ビューティエキスパートコース65単位以上、シデスコインターナショナルエステティックコース70単位以上を修得したもの。</li> <li>・美容専門課程1年制のビューティテクニカル学科学生は1年以上在学し、コースごとに定める授業科目を履修し、エステティシャンコース37単位以上、ネイリストコース31単位以上を修得したもの。</li> <li>・納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。</li> </ul> <p>校訓として掲げる、知識、まごころ、技能の3要素に優れた社会人として、自らの創意工夫により技術や感性を養えるような技術者の育成をめざし、学科ごとに定める授業科目を履修し、便覧に定められている上記単位以上を修得したものを卒業要件とする。</p> <p>上記に該当するものにたいして、卒業認定会議に附して、卒業を認定する。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>ホームページにより公表          URL：<a href="http://www.gunbi.ac.jp">http://www.gunbi.ac.jp</a> (TOP ページ下部、“成績評価に関する…”)</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	群馬県美容専門学校
設置者名	学校法人群馬県美容学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにより公表 URL : <a href="http://www.gunbi.ac.jp">http://www.gunbi.ac.jp</a> (TOP ページ下部、“財務諸表等”)
収支計算書又は損益計算書	ホームページにより公表 URL : <a href="http://www.gunbi.ac.jp">http://www.gunbi.ac.jp</a> (TOP ページ下部、“財務諸表等”)
財産目録	ホームページにより公表 URL : <a href="http://www.gunbi.ac.jp">http://www.gunbi.ac.jp</a> (TOP ページ下部、“財務諸表等”)
事業報告書	ホームページにより公表 URL : <a href="http://www.gunbi.ac.jp">http://www.gunbi.ac.jp</a> (TOP ページ下部、“財務諸表等”)
監事による監査報告（書）	ホームページにより公表 URL : <a href="http://www.gunbi.ac.jp">http://www.gunbi.ac.jp</a> (TOP ページ下部、“財務諸表等”)

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		美容専門課程	美容師学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010 単位時間/単位	600 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1410 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
200人		92人	0人	7人	9人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 美容師国家試験対策の他、カット、カラーリング、フォトシューティングなどの理論と実技をバランスよく習得させる。 ロンドンの短期留学を行い、日本人とは違う髪質の外国人のカットや接客を学ぶ。実際の人頭を使った豊富な相モデル実習を行い卒業時にはジュニアスタイリストレベルのテクニックを習得させる。 1年次 12月 ロンドン短期留学 2年次 5月 校内カットコンテスト 9月 全国カットコンテスト

2月 国家試験
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>授業科目ごとに100点満点中60点以上を合格とする。          評価においては、C評価以上を合格とする。</p> <p>s：特に優秀な成績 (100～90点)          A：すぐれた成績 (89～80点)          B：一応その科目の要求を満たす成績 (79～70点)          C：合格と認められる最低の成績 (69～60点)          F：不合格 (59点以下)</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p><b>【進級】</b>          次の各号に該当する者について進級認定会議に附して進級を認定する。          ①1年次に定められた授業科目を履修し、単位を修得したもの。          ②1年次に納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。</p> <p><b>【卒業】</b>          美容師学科においては67単位以上を修得したものを卒業認定会議に附して卒業を認定する。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p><b>【美容師国家試験Webトレーニング】</b> スマホやタブレット、パソコンを利用し、学校以外にも自宅や登下校の間にも学ぶことができる。  <b>【校内に学生用パソコンを設置】</b> 学修や就職等に必要な情報等を自由に得ることができる。  <b>【就職サポート】</b>          担任制・個別指導、自校開催の就職セミナーや就職ガイダンス、インターンシップ等により学生一人一人の就職をサポートしています。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
81人 (100%)	0人 (0%)	80人 (98.8%)	1人 (1.2%)
(主な就職、業界等) 美容室			
(就職指導内容) 1年次より校内で行われる就職ガイダンス(年5回)に参加させることで入学直後から就職に対する意識付けをおこなった。 実務実習先を探す際にも、就職につながる店舗選びを行わせた。 担任による個人に合った個別面談や相談を適宜行うことで、各自の就職に対する進捗状況の把握に努めた。			

(主な学修成果 (資格・検定等) )	
全コース	美容師国家試験 メイクアップ検定3級 ネイリスト技能検定3級 ネイルサロン管理衛生士 ビジネス能力検定ジョブパス3級 きもの文化検定 パーソナルカラリスト検定3級
セットリスト&メイクアップコース	メイクアップ検定2級
ブライダルビューティー&着付けコース	認定フェイシャルエステティシャン SBS 着付け2級 アイデザイナー検定 フォーマルスペシャリスト検定準2級
エステコース	認定エステティシャン 認定フェイシャルエステティシャン
(備考) (任意記載事項)	

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
124人	3人	2.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 4月に各クラスで個人面談を行い、その後も定期的に面談を行うことで学生の内面の把握に努めた。各種イベントを開催しコミュニケーションが自然にとれる環境づくりを行った。遅刻や欠席が続いた学生の保護者に連絡し、家庭と学校とで情報共有に努めた。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
衛生	美容専門課程	サsun スクールシップ ヘアスタイリスト学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010 単位時間/単位	600 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1410 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	19人	0人	7人	9人	16人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
<p>（概要）</p> <p>美容師国家試験対策の他、カット、カラーリング、フォトシューティングなどの理論と実技をバランスよく習得させる。</p> <p>ロンドンの短期留学を行い、日本人とは違う髪質の外国人のカットや接客を学ぶ。実際の人頭を使った豊富な相モデル実習を行い卒業時にはジュニアスタイリストレベルのテクニックを習得させる。</p> <p>1年次 12月 ロンドン短期留学</p> <p>2年次 5月 校内カットコンテスト</p> <p>9月 全国カットコンテスト</p> <p>2月 国家試験</p>			
成績評価の基準・方法			
<p>（概要）</p> <p>授業科目ごとに100点満点中60点以上を合格とする。</p> <p>評価においては、C評価以上を合格とする。</p> <p>S：特に優秀な成績（100～90点）</p> <p>A：すぐれた成績（89～80点）</p> <p>B：一応その科目の要求を満たす成績（79～70点）</p> <p>C：合格と認められる最低の成績（69～60点）</p> <p>F：不合格（59点以下）</p>			
卒業・進級の認定基準			
<p>（概要）</p> <p>【進級】</p> <p>次の各号に該当する者について進級認定会議に附して進級を認定する。</p> <p>①1年次に定められた授業科目を履修し、単位を修得したもの。</p> <p>②1年次に納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。</p> <p>【卒業】</p> <p>ササーンスクールシップヘアスタイリスト学科においては67単位以上を修得したものを卒業認定会議に附して卒業を認定する。</p>			
学修支援等			
<p>（概要）</p> <p>【美容師国家試験Webトレーニング】スマホやタブレット、パソコンを利用し、学校以外にも自宅や登下校の間にも学ぶことができる。</p> <p>【校内に学生用パソコンを設置】学修や就職等に必要な情報等を自由に得ることができる。</p> <p>【就職サポート】</p> <p>担任制・個別指導、自校開催の就職セミナーや就職ガイダンス、インターンシップ等により学生一人一人の就職をサポートしています。</p>			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	1人 (14.3%)	6人 (85.7%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等) 美容室
(就職指導内容) 相モデル実習を積極的に行い、就職後即戦力となる人材育成に努め外部へのアピールを行った。 1年次より校内で行われる就職ガイダンス（年5回）に参加させることで入学直後から就職に対する意識付けをおこなった。 担任による個人に合った個別面談や相談を適宜行うことで、各自の就職に対する進捗状況の把握に努めた。
(主な学修成果（資格・検定等）) 美容師国家試験 ビジネス能力検定
(備考)（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19人	2人	10.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談を定期的に行い、学生1人1人の状況把握。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		美容専門課程	ビューティ stylist 学科 ブライダル stylist コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間/単位	365 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1335 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人の内数		7人	0人	5人	15人	20人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		美容専門課程	ビューティスタイリスト学科 メイクアップ&コスメティックアド バイザーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間/単位	385 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1315 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人の内数		8 人	0 人	5 人	15 人	20 人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		美容専門課程	ビューティスタイリスト学科 ネリストコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間/単位	305 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1395 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人の内数		4 人	0 人	5 人	15 人	20 人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		美容専門課程	ビューティスタイリスト学科 シブスコインターナショナル エステティックコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間/単位	745 単位時間 /単位	単位時間 /単位	955 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人の内数		7 人	0 人	5 人	15 人	20 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) <1 年次> ブライダルスタイリストコース ・・・和装・洋装の着付けからエステ、メイクアップまで、ブライダルに必要な知識と技術をトータルに学ぶ。 メイクアップ&コスメティックアドバイザーコース ・・・ナチュラルメイクから印象メイク、クリエイティブメイクなどメイクアップ全般を学ぶ

ネイリストコース

・・・ネイルケア、ネイルアートやエクステンション、スカルプチュア、ジェルネイルなどのテクニックを学び、ハイクラスの資格取得をめざす。

シデスコインターナショナルエステティックコース

・・・フェイシャルマッサージ、ボディーマッサージ、脱毛、ソシオエステティックなど、エステティックに関するトータルな知識、技術を学び、インターナショナルな資格である CIDESCO の取得や、認定トータルエステティックアドバイザーなど、トップエステティシャンに必要な知識と技術を学ぶ。

6月にメイク検定3級を受験、及び、前期期末試験、10月ネイル検定および各コース、着物文化検定、メイクセラピー、後期期末試験を実施予定

<2年次>

ブライダルスタイリストコース

・・・和装・洋装の着付けからエステ、メイクアップまで、ブライダルに必要な知識と技術をトータルに学ぶ。6月のコンクールに向けて着付けや洋装の練習、撮影授業、1月にブライダルコーディネイト実務検定を受験

メイクアップ&コスメティックアドバイザーコース

・・・ナチュラルメイクから印象メイク、クリエイティブメイクなどメイクアップ全般を学ぶ

7月のメイク検定やメイクのコンクール、フォトコンテスト、2月にはメイクセラピー検定を受検

ネイリストコース

・・・ネイルケア、ネイルアートやエクステンション、スカルプチュア、ジェルネイルなどのテクニックを学び、ハイクラスの資格取得をめざす。

4月にネイリスト技能検定の1級を受検し、ジェル検定、9月のフットケア検定、11月のネイルエキスポコンテスト、2月にはジェル検定上級を受験予定。

成績評価の基準・方法

(概要)

授業科目ごとに100点満点中60点以上を合格とする。

評価においては、C評価以上を合格とする。

S：特に優秀な成績 (100～90点)

A：すぐれた成績 (89～80点)

B：一応その科目の要求を満たす成績 (79～70点)

C：合格と認められる最低の成績 (69～60点)

F：不合格 (59点以下)

卒業・進級の認定基準

(概要)

【進級】

次の各号に該当する者について進級認定会議に附して進級を認定する。

①1年次に定められた授業科目を履修し、単位を修得したもの。

②1年次に納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。

【卒業】

ウェディングコース65単位以上、メイクアップ&Cコース65単位以上、マニキュアコース63単位以上、シデスコインターナショナルコース70単位以上を修得したもののまた、卒業認定会議に附して卒業を認定する。

学修支援等
(概要) 【校内に学生用パソコンを設置】学修や就職等に必要な情報等を自由に得ることができる。 【就職サポート】 担任制・個別指導、自校開催の就職セミナーや就職ガイダンス、インターンシップ等により学生一人一人の就職をサポートしています。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6人 (100%)	0人 (0%)	2人 (33.3%)	4人 (66.7%)
(主な就職、業界等) ブライダル業界、ネイルサロン			
(就職指導内容) 1年次より自分の進みたい業界関連でのアルバイトなどを促す。 就職サイトへの登録及び、学校でのガイダンスへ参加を促す			
(主な学修成果(資格・検定等)) フォーメクスペシャリスト検定準2級ブロンズ、ブライダルコーディネーター技能検定3級、きもの文化検定4級、メイク検定2級、メイクセラピー3級、パーソナルカラーリスト検定3級、秘書検定3級、ネイリスト検定1級、ジュエル検定上級、ネイルサロン衛生管理士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	7人	35%
(中途退学の主な理由) 進路変更、金銭面での退学		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席に多い学生に対して面談を行い、生活態度の改善を促す。 コミュニケーションを多く取るように努めた。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		美容専門課程	エステティック学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間/単位	870 単位時間 /単位	単位時間 /単位	830 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人	2人	0人	3人	6人	9人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>フェイシャルマッサージ、ボディーマッサージ、脱毛、ソシオエステティックなど、エステティックに関するトータルな知識、技術を学び、国際的な資格である CIDESCO の取得や、認定トータルエステティックアドバイザーなど、トップエステティシャンに必要な知識と技術を学ぶ。</p> <p>7月に認定エステティシャンの実技試験、9月に筆記試験、11月にアロマ検定、2月にシデスコ受験</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>授業科目ごとに100点満点中60点以上を合格とする。</p> <p>評価においては、C評価以上を合格とする。</p> <p>S：特に優秀な成績 (100～90点)</p> <p>A：すぐれた成績 (89～80点)</p> <p>B：一応その科目の要求を満たす成績 (79～70点)</p> <p>C：合格と認められる最低の成績 (69～60点)</p> <p>F：不合格 (59点以下)</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p><b>【進級】</b></p> <p>次の各号に該当する者について進級認定会議に附して進級を認定する。</p> <p>①1年次に定められた授業科目を履修し、単位を修得したもの。</p> <p>②1年次に納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。</p> <p><b>【卒業】</b></p> <p>エステティック学科においては78単位以上を修得したものを卒業認定会議に附して卒業を認定する。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p><b>【校内に学生用パソコンを設置】</b>学修や就職等に必要な情報等を自由に得ることができる。</p> <p><b>【就職サポート】</b></p> <p>担任制・個別指導、自校開催の就職セミナーや就職ガイダンス、インターンシップ等により学生一人一人の就職をサポートしています。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6人 (100%)	0人 (0%)	6人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 大手エステサロン、リゾート施設のエステサロン			
（就職指導内容） 大手エステティックサロンより、企業説明会を開催、選考会も行う インターンシップ先から就職へつながるよう指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） シデスコ合格、AJESTHE 認定エステティシャン・アロマセラピー1級、パーソナルカラリスト検定3級、秘書検定3級、ネイリスト技能3級・メイク検定3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	1人	11.1%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 欠席に多い学生に対して面談を行い、生活態度の改善を促す。 コミュニケーションを多く取るように努めた。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		美容専門課程	ビューティケル学科 エステティシャンコース				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	870 単位時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人の内数		1人	0人	4人	9人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） フェイシャルマッサージ、ボディーマッサージ、脱毛などのエステティックに関する基礎及びサロンで必要なエステティック技術を学び、基本的なメイクアップ、ネイル

技術もあわせてまなびます。  
6月にメイク検定、10月～11月ごろにネイル検定、アロマ検定など受験予定、1月には認定エステティシヤンの受験を予定

成績評価の基準・方法

(概要)  
授業科目ごとに100点満点中60点以上を合格とする。  
評価においては、C評価以上を合格とする。  
S：特に優秀な成績 (100～90点)  
A：すぐれた成績 (89～80点)  
B：一応その科目の要求を満たす成績 (79～70点)  
C：合格と認められる最低の成績 (69～60点)  
F：不合格 (59点以下)

卒業・進級の認定基準

(概要)  
【卒業】  
1年制のビューティテクニカル学科においてはエステティシヤンコース37単位以上を修得したものを卒業認定会議に附して卒業を認定する。

学修支援等

(概要)  
【校内に学生用パソコンを設置】学修や就職等に必要な情報等を自由に得ることができる。  
【就職サポート】  
担任制・個別指導、自校開催の就職セミナーや就職ガイダンス、インターンシップ等により学生一人一人の就職をサポートしています。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 卒業生なし			
(就職指導内容) 卒業生なし			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 卒業生なし			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%

(中途退学の主な理由) 在籍者なし
(中退防止・中退者支援のための取組) 在籍者なし

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
サスン スクールシップヘアスタイリスト学科	100,000 円	500,000 円	550,000 円	実習・研修費 250,000 円 施設設備費 300,000 円
美容師学科 ビューティスト学科 理容修得者学科 ビューティテクニカル学科	100,000 円	500,000 円	485,000 円	実習・研修費 185,000 円 施設設備費 300,000 円
修学支援 (任意記載事項)				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにより公表 (現在は H29 年度の情報、H30 年度の情報は 9～10 月頃にアップする予定) URL : <a href="http://www.gunbi.ac.jp">http://www.gunbi.ac.jp</a> (TOP ページ下部の「学校情報」)
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)
<b>【評価項目】</b> 1) 教育理念・目標 2) 学校運営 3) 教育活動 4) 学修成果 5) 学生支援 6) 教育環境 7) 学生の受け入れ募集 8) 財務 9) 法令等の遵守

<p>10) 社会貢献・地域貢献</p> <p>【評価委員会の構成】 企業委員 4名</p> <p>【評価の活用方法】 学校教育活動等の総合的な状況について、学校関係者評価委員が基準を満たしているかどうかの判断を中心とした評価を実施する。評価の結果を受け、学校運営や教育活動についての見直しや改善を行うことで実践的な職業教育を行い、業界で活躍できる人材の育成に努める。</p> <p>【学校関係者評価委員会の開催時期】 前年度の自己評価に対する評価を当年度の8月頃に委員会を開催</p> <p>【学校関係者評価結果の公表時期】 前年度に対する評価結果を通年当年度の9～10月頃にホームページに公表する</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
関東地区理容師美容師養成施設協議会	H30年4月1日～R3年3月31日	企業等委員
タカラベルモント株式会社高崎理美容営業所	H30年4月1日～R3年3月31日	企業等委員
新井博法律事務所	H30年4月1日～R3年3月31日	企業等委員
有限会社富岡労務管理事務所	H30年4月1日～R3年3月31日	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法		
<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p>ホームページにより公表 (現在はH29年度の情報、H30年度の情報は9～10月頃にアップする予定)</p> <p>URL：<a href="http://www.gunbi.ac.jp">http://www.gunbi.ac.jp</a> (TOPページ下部の「学校情報」)</p>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p>「学校パンフレット及び募集要項」本校ホームページ (<a href="http://www.gunbi.ac.jp/top.html">http://www.gunbi.ac.jp/top.html</a>) のTOPページ右上の“資料請求”からか電話での資料請求により入手可能</p>
---